令和6年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・2年生では「漢字の読み書き」で目標値を上回り、「読むこと」でも目標値を上回った。
- ・3年生では、段落の役割や構成など論理的に読み取るトレーニングを積み重ねることで「説明的な文章の内容の読み取り」で目標値を上回った。

(2) 課題

- ・1年生では、漢字の「書き」で目標値を大きく下回ったため、漢字学習の習慣化を目指す。
- ・2年生では、「話すこと・聞くこと」で目標値を下回ったため、スピーチ力や聞く力を育てる。
- ・3年生では、「文章を書く」で目標値を大きく下回ったため、作文指導の充実を図る。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和6年度結果	令和5年度結果	令和4年度結果
第1学年	目標値▼2.6 領域別では、言葉の特徴や使い方に関する事項で目標値を8.0下回った。	/	/
第2学年	目標値△0.1 領域「読むこと」が目標値より2.9、「書くこと」は6.0上回った。「話すこと・聞くこと」では5.6下回っていた。	目標値▼1.6 領域「読むこと」が目標値より、5.1下回っていた。 (第1学年時)	/
第3学年	目標値▼3.7 領域「書くこと」が目標値より9.1下回っており、全体では基礎が3.1、活用が4.8下回っていた。	目標値▼4.2 全体では4.2下回っており、基礎・活用では「基礎」が3.3、「活用」では6.1下回っていた。 (第2学年時)	目標値▼2.0 領域「読むこと」が目標値より0.7上回っていた。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▼5.0 漢字の読みは目標値に近い水準である一方で、書くことに関して、目標値を大きく下回っている。	目標値▲0.2 話すこと・聞くこと、書くことが目標値を下回ったが、読むことで目標値を上回った。	目標値▼3.5 「文章を書く」項目と「インタビューの内容を聞き取る」項目で目標値を下回っている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値△0.3 漢字の読み書きで目標値を上回っている。文法・語句に関する事項では目標値を下回っている。	目標値△0.5 読むことや書くことで目標値を上回っている。話すこと・聞くことで目標値を下回っている。	目標値▼3.3 ポスターについて書く問題では、目標値を上回り、話し合いの問題では、目標値を下回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▼2.0 漢字の書きで目標値を下回っているが、文法・語句に関する事項では目標値を超えている。	目標値▼4.8 説明的な文章の読み取りが目標値を上回っているが、文学的な文章の読み取りでは目標値を下回っている。	目標値▼12.3 インタビューの内容を聞き取る問題で目標値を大きく下回っている。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の書きで目標値を大きく下回っているので、授業や自宅学習で漢字の練習を習慣化し、定着を図る。	話すこと・聞くことで目標値を下回っているので、発表の機会を増やすなど、授業の工夫を図る。	発表する機会を増やし、他者の考えを知ること、自分の考えをより深く追求することを旨とする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
文法・語句に関する事項で目標値を下回っているため、小テストを行い、文法・語句の定着を図る。	話すこと・聞くことで目標値を下回っているため、スピーチ力や聞く力を育てる授業を行う。	話し合いの場面や、発表する機会を増やす。お互いの意見を理解し合い、伝えあう。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の読み書きに課題があるため、小テストを活用し、定着を図る。	文学的な文章の読み取りでは、描写をもとに登場人物の心情を理解することに重点を置く。	自身の知識や経験を踏まえた構成で作文が書ける作文課題の作成を行う。